

令和 6 年度事業報告

令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日

一般財団法人國學院大學院友会

概要

令和 6 年度の諸事業も、ほぼコロナ禍前の形式で実施することができた。しかし、一部の事業では完全再開に至らないものもあり、それに関連する収益に課題が残った。しかし、本部において新たな事業も展開することができた。支部活動の中心である支部総会は、ほぼすべての支部で開催できたが、全体的に出席者数が従前までには至らずに対応に苦慮している支部もあり、今後、本部として改善策・打開策を検討していかなければならないと考える。

一方、院友会館で開催される同期会・クラブOB会・学生課外活動は、従前に戻りつつある。今後も、快適に院友会館を利用いただくために、積極的に取り組んでいきたい。

令和 6 年度の各事業の概況は、次のとおりである。

【育成事業】

1. 國學院大學学生等支援

(1) 学術・スポーツ振興資金制度による支援

規程、及び理事会での決議に基づき支援を行った。

① 学 術 部 門 … 母校貴重資料デジタル化事業

支援額 100,000 円

② スポーツ部門 … 硬式野球部

支援額 1,000,000 円

陸上競技部(長距離部門)

支援額 1,000,000 円

柔道部：支援額 1,000,000 円

ソフトテニス部

支援額 500,000 円

卓球部：支援額 300,000 円

剣道部：支援額 200,000 円 (令和 6 年度、単年度の特別支援)

※陸上競技部の出雲駅伝・全日本大学駅伝優勝を始め、それぞれの部会において顕著な成績を残してくれた。

令和 7 年度の支援についても、第 46 回理事会(令和 6 年 12 月 17 日:火 開催)で審議され、対象と支援額が決定した。学術部門の新たな支援の対象については、引き続き検討を進めることとする。

「参考」

・第 46 回理事会で決議された令和 7 年度の対象団体と支援額

イ：学術部門

母校所蔵の貴重資料デジタル化事業 100,000 円

ロ：スポーツ部門

硬式野球部 1,000,000 円 / 陸上競技部(長距離部門) 1,000,000 円

柔道部 1,000,000 円 / ソフトテニス部 500,000 円

卓球部 300,000 円

剣道部(※特別支援：令和 7 年度も継続支援決定) 200,000 円

・院友等からの「学術・スポーツ振興資金」協力金額

令和 6 年度合計 3,312,940 円(前年度比 956,940 円増益)

(2) 教職を目指す学生の支援

教職課程受講者で、小学校・中学校・高等学校それぞれの教員を目指す学生に対し、学習指導要領を贈呈し応援を行った。

渋谷キャンパス 合計 190 冊贈呈

たまプラーザキャンパス 合計 180 冊贈呈

(3) 院友会長賞(学生の部)による支援

第 47 回理事会(令和 7 年 3 月 25 日:火 開催)でこの対象が決定した。



学術・スポーツ振興資金
院友大会での贈呈セレモニー



令和5年度 院友会長賞贈呈セレモニー

「受賞者」

■陸上競技部

令和6年10月14日(月:祝)の第36回出雲全日本大学選抜駅伝競走で5年振り2度目の優勝、11月3日(日)の秩父宮賜杯第56回全日本大学駅伝対校選手権大会で初優勝、令和7年1月2日(木)・3日(金)の第101回東京箱根間往復大学駅伝競走で総合3位(過去最高順位タイ)の成績を収めたことによる。

■ソフトテニス部

令和6年6月の第44回全日本大学ソフトテニス王座決定戦で優勝し2連覇を、9月の全日本学生選手権大会でも久保田 茜(日文4年)・原千晴(中文4年)のペアが女子ダブルスで優勝し2連覇の偉業を成し遂げたことによる。

(注)学年表記は令和6年3月現在。

贈呈は、令和7年度院友大会において行う。

(4)キャリアサポート課との連携事業

就職活動支援への協力、及び連携強化の一環として次の事業に協力した。これまでは、OBOG・内定者アドバイス会への協力であったが、新たに合同企業説明会開催の際にも協力した。

①合同企業説明会

開催日時 令和7年2月6日(金)・7日(土)

午前の部 午前10時30分～午後12時50分 3回

午後の部 午後2時～午後4時20分 3回

協力内容 キャリアサポート課と連携し、参加学生(延べ3,005名 ※キャリアサポート課からは、各日午前午後それぞれ約500名程度の学生が参加したとの情報)へ応援メッセージ付オリジナルラベルウォーターを配付し激励した。

②OBOG・内定者アドバイス会

開催日時 令和7年2月8日(土)

アドバイス会 午後1時40分～4時50分

情報交換兼懇親 午後5時30分から

協力内容 キャリアサポート課と連携し、アドバイスに協力してくれた全OBOG・内定者への謝意、及びアドバイス会終了後の情報交換兼懇親の会場提供、参加学生(延べ1,272名 ※キャリアサポート課からは、500名以上の学生が参加したとの情報)へ応援メッセージ付オリジナルラベルウォーターを配付し激励した。



激励メッセージ入りの
オリジナルラベルウォーター

(5)日本の伝統文化体験支援

国際交流課と連携し、学生・留学生を主な対象とした日本の伝統文化に関する学び・体験の機会を支援した。

①4月27日(水) 国際交流プログラムの茶道体験教室(会場提供)

②11月9日(土) 国際交流プログラムの茶道体験教室(会場提供)

(6)院友学術振興会（協力団体）との協力連携による学術振興への寄与

院友学術振興会との協力連携を通じ、学術の振興への寄与事業を行った。

学術振興を目的として、今年度も院友学術振興会へ特別支援を行った。これを基に「新國學 復刊第16号（通巻第20号）」が12月1日に発行、國學院大學図書館にも寄贈され学生の研究資料となっている。又、「公開講座 國學院の古典」も開催され、大勢の方々に受講いただき好評を博した。

※詳細は別掲

■実施できなかった事業

➤学生の就職支援活動

本部が主体となり、支部の協力を得ながら実施予定であったが、本部の態勢が整わず実施できなかった。

2. 会館施設の貸与、又は経費の補助

育成事業に該当する学生の会館利用の際に、施設の貸与、又は経費の補助を行った。更に、コロナ禍で活動が自粛となっていた影響がまだ残っており、会の運営に苦慮する学生の声が令和5年度に続いて聞こえてきたため、会館で行われる会合の際に準備段階から当日の会の運営に至るまで、できる限りのサポートを行った。（例：予算・会場設営・式次第のアドバイス等）又、学生部会等の諸活動への一助として、特別補助（補助額の割増／2年度目）の支援も行った。

補助対象 102件 合計補助金額 2,524,390円 内 特別補助対象 9件

3. 全国の高校生を対象とした文化事業支援

(1)第28回全国高校生創作コンテストへの協力

主 催：國學院大學、高校生新聞社

協 賛：本会、若木育成会、國學院大學北海道短期大学部 / 後 援：文部科学省 他

(2)第20回地域の伝承文化に学ぶコンテストへの協力

主 催：國學院大學、高校生新聞社

協 賛：本会、若木育成会、國學院大學北海道短期大学部 / 後 援：文部科学省、農林水産省、全国高等学校校長協会 他

それぞれのコンテストへの協賛を行い、令和6年12月8日（日）に開催された各コンテスト表彰式において祝意を述べる機会を得た。

【講座・講演会事業】

1. 講座の開催

(1)『風土記を読む（第7期）～出雲國風土記を読む～』

前年度に続いて開催した。この講座は、令和6年度は第7期を迎えた。

- ・開講日 5月14日・6月11日・7月9日・9月10日・11月12日
11月26日（10月8日振替分）・12月10日・令和7年1月21日・2月18日
3月11日 全10回 / 毎火曜日 13:30～15:00
- ・講 師 谷口雅博氏（國學院大學文学部教授）
- ・会 場 院友会館 3階 大会議室
- ・申 込 30名

(2)院友学術振興会公開講座『國學院の古典』（第26回）

前年度に続いて開催した。毎回好評の公開講座で、令和6年度も多くの参加者を迎えることができた。

- ・開講日、内容等
令和7年1月15日（水）①午後1時～ ②午後2時50分～ 申込 49名 / 参加 41名
- ①上代文学「雷神と蛇」
講師：山崎かおり氏（國學院大學文学部兼任講師）
- ②神道学「人口減少社会における信仰継承と課題」
講師：冬月 律氏（麗澤大学准教授）

1月16日(木) 申込 105名 / 参加 92名

①源氏物語「源氏物語の女君たちー夕顔の恋ー」

講師：竹内正彦 氏（國學院大學文学部教授）

②古事記「太安萬侶考」

講師：菅野雅雄 氏（院友学術振興会会長）

1月17日(金) 申込 76名 / 参加 64名

①源氏物語「源氏物語の召人たち」

講師：浅川哲也 氏（東京都立大学人文社会学部教授）

②上代文学「瑞祥・災異と祭祀」

講師：渡邊 卓 氏（國學院大學研究開発推進機構准教授）

1月18日(土) 申込 39名 / 参加 30名

①民俗学「イベントと民俗芸能」

講師：大石泰夫 氏（國學院大學文学部教授）

②中国文学「中国における招魂呪術ー道教儀礼文献を資料にー」

講師：浅野春二 氏（國學院大學文学部教授）

・会 場 國學院大學院友会館 B1F 大ホール

(3)生活芸術講座（一般社団法人儀礼文化学会との共催）

儀礼文化において、生活を基盤とし伝統的特色を有する分野を「生活芸術」と位置付け、その文化的芸術的価値として「美」を考え、日本文化の形と心を体験する講座で、次のとおり実施した。



公開講座『國學院の古典』菅野雅雄氏の講義

①演 題：「料理～『日本料理の美意識』～」

・日 時 令和6年11月10日（日）

14:00～16:00

・講 師 江戸懐石近茶流宗家
柳原尚之 氏

・会 場 國學院大學院友会館 B1F 大ホール

・参加者 43名（内、8名が院友会受付分）

②演 題：『儒教～江戸庶民の「論語」

ー日本人は「論語」に何を求めたか～』

・日 時 令和7年2月9日（日）

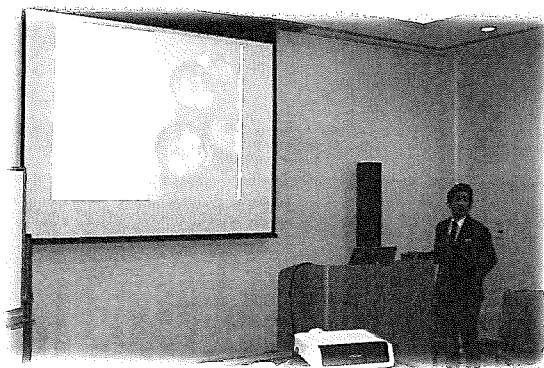
14:00～16:00

・講 師 國學院大學文学部教授

石本道明 氏

・会 場 國學院大學院友会館 B1F 大ホール

・参加者 30名（内、5名が院友会受付分）



11月開催の生活芸術講座

2. 講演会の開催

(1)令和6年度一般公開講演会

次のとおり開催した。

・日 時 令和6年5月25日（土）

17:00～18:00

・講 師 國學院大學文学部教授
竹内正彦 先生

・演 題 「光る源氏へ
～ 源氏物語をいかに読むか ～」

・会 場 明治記念館「蓬萊の間」

・来場者 260名



竹内正彦先生を講師に迎えての一般公開講演会

(2)統一テーマ「もっと日本を学ぼう」による公益事業

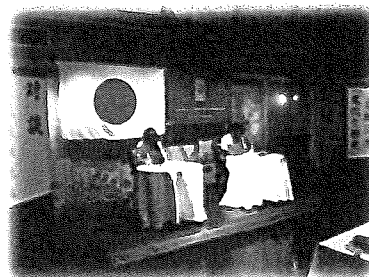
公益事業実施規程に基づき、社会貢献事業として次のとおり実施した。

《神奈川県支部》

- ・開催日 7月27日(土) 15:00～17:00
- ・講師 鳥山泰孝氏(106法/國學院大學硬式野球部監督)
- ・テーマ 「國學院大學硬式野球部の取り組みー育成と勝利の両立」
- ・会場 鶴岡八幡宮直会殿
- ・来場者 約50名

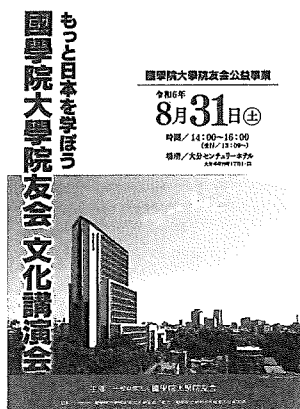
《大阪府支部》

- ・開催日 8月17日(土) 13:00～16:10
- ・講師 上野 誠氏(92文・94博前文・98博後文/國學院大學文学部教授)
- ・テーマ 「難波津の歌(なにはづのうた)ー好去好来歌(こうきょうらいか)からー」
- ・講師 東城敏毅氏
(ノートルダム清心女子大学文学部 教授)
- ・テーマ 『万葉集』遣新羅使歌群
(けんしらぎしかぐん)
- ・会場 大阪天満宮 天満宮会館
- ・来場者 34名
- ・備考 対談もあり



大阪府支部 夏期講座

《大分県支部》※台風の影響で開催中止(下記は当初の開催予定)



大分県支部開催予定であった文化講演会パンフレット

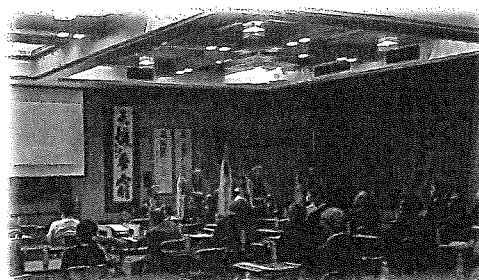
- ・開催日 8月31日(土) 14:00～16:00
- ・講師 竹内正彦先生(國學院大學文学部教授)
- ・テーマ 「光る君と光る源氏ー源氏物語をいかに読むか」
- ・会場 大分センチュリーホテル

《長野県支部》

- ・開催日 10月26日(土) 13:30～15:00
- ・講師 守屋 久氏(94神/諏訪大社禰宜)
- ・テーマ 「諏訪信仰について」
- ・公演 木遣り公演(講演終了後に披露)
出演:下諏訪町木遣保存会
- ・会場 諏訪大社下社秋宮参集殿
- ・来場者 約70名



長野県支部 守屋氏による講演会



下諏訪町木遣保存会の皆さんの公演

《静岡県西部支部》

- ・開催日 令和7年3月15日(土) 15:00~16:30
- ・講師 大谷純應氏(99史/法多山尊永寺住職)
- ・テーマ 「これからのお寺のあり方 ~法多山尊永寺開創1300年を迎えて~」
- ・会場 法多山尊永寺(袋井市)
- ・来場者 35名

(3)大規模災害被災地公益事業

11月17日(日)開催の令和6年度石川県支部総会の際に事務局と相談。令和7年度実施に向けて、具体化していくこととした。

3. その他

(1)サロンコンサート

毎回多くの来場者があり好評を得ているもので、地域社会貢献事業の一つとして次のとおり開催した。

《第30回サロンコンサート》

- ・開催日 7月26日(金) 17:00~18:15
- ・タイトル 「真夏の夜のジャズシネマ
ーサクソファンサンプルの夕べ」
- ・出演 セリエ・デュ・トリオ
- ・会場 國學院大學院友会館 1F ロビー
- ・来場者 43名
- ・備考 株式会社アリアに企画依頼



第30回サロンコンサート

《第31回サロンコンサート》

- ・開催日 12月7日(土) 14:00~15:30
- ・タイトル 「声楽・三味線・ピアノ 異色のコラボが奏でるハーモニー」
- ・出演 藤田彩歌(メゾソプラノ)・佐藤さくら子(三味線)・小林滉三(ピアノ)
- ・会場 國學院大學院友会館 1F ロビー
- ・来場者 66名
- ・備考 株式会社アリアに企画依頼

《第32回サロンコンサート》

- ・開催日 令和7年3月8日(土)
14:00~15:30
- ・タイトル 「雅楽&舞楽【伝統と美の調べ】第2弾
ー雅な舞楽が心を魅了ー」
- ・出演 國學院大學青葉雅楽会
國學院大學神楽舞サークルみずゞ会
- ・会場 國學院大學院友会館 1F ロビー
- ・来場者 71名
- ・備考 一部、実施事業：育成事業としても
位置付け



第32回サロンコンサート

■実施できなかった事業

➢新規講座・講演会等の実施

事業計画において、時節にかなった新たな講座や講演会の開催を掲げていたが、事務局事情により実施できなかった。

【会館施設提供事業】

本法人が有する「院友会館」が、地域の方々の交流の場となり更に地域が活性化するように、これを目的とした利用の際の支援を行った。

補助対象 69件 合計補助金額 1,081,300円

《主な対象実績》

遠州流茶道教室 / 山種美術館 / 公益財団法人 重複障害教育研究所
広尾高等学校 / 他

【特定寄付】

國學院大學へ次のとおり寄付を行った。

- ①「学生・生徒等への奨学基金」として、1,000,000円の寄付を行った。
- ②國學院大學が実施している全国の高校生対象文化事業への協力支援として、200,000円の寄付を行った。

【同窓会事業】

(1)会報発行発送事業

次のとおり、3号の院友会報を発行した。

①残暑見舞号(387号)

8月16日付発行、8月下旬発送。全8面、96,300部。住所判明者全員に送付した。

②新年号(388号)

令和7年1月1日付発行、令和6年12月中旬発送。全8面、約25,600部。当年度内、寄付金・会費納入協力者限定で送付。

③新院友歓迎号(389号)

令和7年3月23日付発行、令和7年3月下旬発送。全8面、約100,500部。住所判明者全員に送付、新院友・新入生に配付した。

➤ 継続検討事項

令和6年度、送付を住所判明者全てに送付する目標があったが、現状も会館事業収益部門の不安があるため、令和5年度までと同じ対応を採ることとした。

また、送料等の高騰や、デジタル化やペーパーレス化等も踏まえ、今後の展開についての検討。

(2)会員統括組織化事業

次のとおり、コロナ禍前と同様の形式で開催することができた。

①支部長会議(第44回)

- ・日時 5月25日(土) 13:30~16:30
- ・会場 明治記念館「蓬莱の間」
- ・概要 各支部から、支部長・事務局担当者の2名を招聘した。

59支部中 58支部出席

4協力団体全て出席

総勢118名参加

(来賓・主催関係者を含む)

院友会運営、大学現況報告、支部現状報告等を行った。



支部長会議の様子

②令和6年度院友大会



久々に本格開催となった院友大会

日時: 5月25日(土) 18:15~20:00

会場: 明治記念館「富士の間」

概要: 開催形式は通常のものとした。

出席者 約260名

参加費 1人 10,000円

※支部長会議出席者は招待: 大学の協力による

令和5年度院友会長賞、令和6年度学術・スポーツ振興資金の贈呈も行った。

③ホームカミングデーへの積極的参加

- ・開催日 令和6年10月13日(日)
- ・会場 國學院大學渋谷キャンパス
- ・来場者 約1,300名(令和5年度 約1,000名)
- ・企画 大学内の実施準備委員会での検討で、次のとおり多くの企画が実施された
相川七瀬氏 特別講演 / 井上順孝名誉教授 特別講義
西村幸夫観光まちづくり学部長 学部紹介/大人のキャパスツアー
卒業アルバム展示/卒業生・在学生オリジナル企画&同窓会
院友会全国支部物産展
⇒ 北海道道北・北海道道南・福島県・栃木県・千葉県・埼玉県北
長野県・長崎県・沖縄県の9支部が参加。他に、國學院大學生活
協同組合の参加協力があった。数年振りに参加協力の支部もあり、
当初計画の目標は達成できたものと思われる。



ホームカミングデー当日の様子



新たなスタートとしてご協力くださった
福島県支部の皆さん

〔若木育成会キャンパス見学会への協力〕

※大学からの依頼により、キャンパス見学会の企画の一つとして物産展を行った。

- ・開催日 令和6年10月26日(土)
- ・会場 國學院大學渋谷キャンパス
- ・来場者 1,500名強
- ・企画 模擬授業 / 就職ガイダンス / 留学ガイダンス
院友会全国支部物産展

⇒ 北海道道東・栃木県・千葉県・埼玉県北・石川県・長崎県の
6支部が参加。他に、北海道滝川市・國學院大學生活協同組合
の参加協力があった。たまプラーザキャンパスの見学会(来場
者400名強)でも、各支部自慢の銘品が國學院大學生活協同
組合の協力で紹介された。

④新年院友交歓会



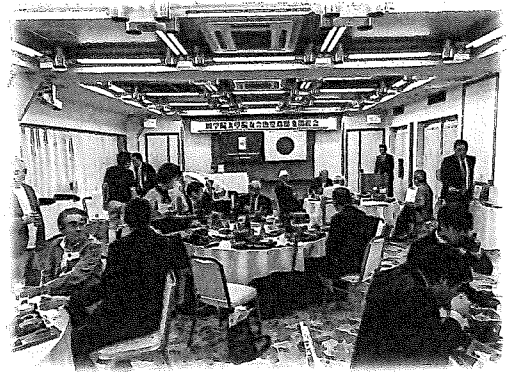
新年院友交歓会 校歌斉唱(全學應援團のリード)

- ・日時 令和7年1月25日(土) 17:00~
- ・会場 國學院大學院友会館 B1F 大ホール
- ・概要 出席者 約140名
参加費 1人6,000円
学術・スポーツ振興資金対象団体の報
告や、全學應援團の特別リーダー公開
を行った。
- ・備考 1階に、大学・陸上競技部の協力を得て
「第36回出雲全日本大学選抜駅伝競走
内閣総理大臣杯」「秩父宮賜杯第56回
全日本大学駅伝対校選手権大会秩父宮
賜杯・優勝旗」を掲出。好評であった。

⑤支部活動

*支部活動の開催状況

- 支部総会へは、業務執行理事を中心に理事や事務局職員を派遣し、積極的に情報交換や交流を行った。
総会等開催支部 54 支部 (57 支部中)
総会等開催協力団体 2 協力団体
総会等開催部会 14 部会 (院友神職会も含む)
- 令和 6 年 4 月 1 日、実状と活性化を目的として新たに福島県支部が発足した。
旧 福島県浜通り支部、福島県中通り支部・福島県会津支部の合併による
- 四国地区では、香川県支部が幹事となり第 10 回四国地区院友会も開催された。(2 年に 1 回開催)
- 「被災地 石川 (能登・加賀) に元気を！」と銘打って石川県加賀市で開催された「大学応援団フェスタ in 加賀市」に石川県支部も協賛・協力。当日は、大勢の地元の方々が来場しイベントは大成功であった。



8 月 31 日 (土) に開催された鹿児島県支部総会

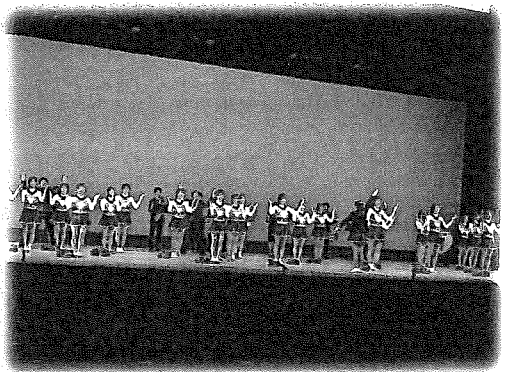
◎総会出席者総数 1,670 名

※協力団体・部会等を含む

全 70 の会合

「参考」令和 5 年度 出席者総数

1,726 名 (全 66 の会合)



大学応援団フェスタ in 加賀市
國學院大學全學応援団のステージ

*支部長の交代

次の支部で支部長の交代があった。

支部によっては若手が登用される支部もあり、今後の動きが期待される。

尚、支部長を勇退された方には感謝状を贈り謝意を表すことが理事会で承認された。

北海道道央支部・北海道道東支部 (任期途中逝去)・福島県浜通り支部 (支部合併)・福島県会津支部 (支部合併)・東京都南多摩支部・岐阜県支部
滋賀県支部・大阪府支部・鳥取県支部・高知県支部

*國學院大學研究開発推進センターの事業への協力



国學院大學

國學院大學研究開発推進センター主催の令和 6 年度公開講演会開催に際し、山口県支部と福岡県支部が広報活動への協力を行った。

【國學院大學「古典文学」の創出研究事業】

「九州の神話と神社」令和 6 年度公開講演会

“霊峰 英彦山と地域社会”

開催日 8 月 24 日 (土) 13:30~

会場 TKP 小倉シティセンター

KOKURAホール

来場者 80 名

⑥支部運営費

令和 6 年度も、支部活動の一助を目的として支部運営費を交付した。(「支部運営費に関する内規」に基づくもの)

「令和 6 年度支部運営費」 合計 1,365,000 円 (※全支部使用済)

⑦会員のデータ管理

院友会報の発送先調査や、ホームページの住所変更届等による会員情報の更新を行った。

*会員情報の更新件数 合計 1,891 件

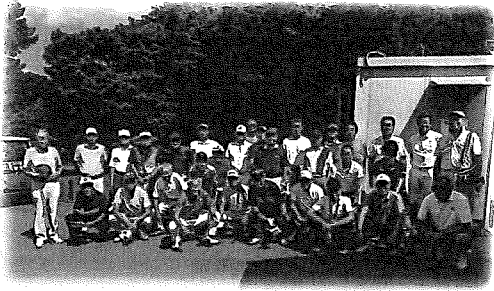
4月 446件/5月 100件/6月 116件/7月 169件/8月 161件/9月 217件

10月 123件/11月 200件/12月 99件/1月 127件/2月 75件/3月 58件

*個人情報の取扱いについては、厳格な手続きで対処した。提供依頼の際も書面で遣り取りの上、提供の際はパスワードを用いる等慎重な対応を採った。

⑧同好会、親睦会的組織の奨励

活動を奨励している院友会ゴルフクラブのコンペが開催され、院友同士の交流が持たれた。



第72回ゴルフコンペ

*第72回コンペ

開催日 令和6年9月4日(水)

場 所 よみうりゴルフ倶楽部
東京都稲城市

参加者 36名

*第73回ゴルフコンペ

開催日 令和7年3月6日(木)

場 所 我孫子ゴルフ倶楽部
千葉県我孫子市

参加者 37名

⑨その他

支部総会等出席者への記念品として、「デュアルライトタッチペン」を3,000本作製した。

(3)同窓会共通事業

①院友会長賞（院友の部）による顕彰

第47回理事会(令和7年3月25日:火 開催)で審議、次のとおり対象者が決定した。

武岡 毅 氏 (130 日文/パーク 24/柔道部OB)

令和6年12月7日(土)のグランドスラム

東京 2024、令和7年2月14日(金)のグラ

ンドスラム・バクー2025の66kg級で優勝。

令和6年2月2日のグランドスラムパリ

大会からグランドスラム三大会連続優勝。

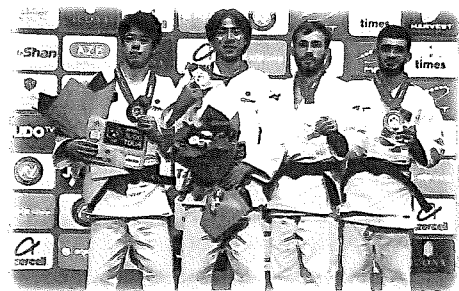
令和7年6月の世界選手権大会(ハンガリー

:ブタペスト)への出場(2大会連続:2024

年アブダビ世界選手権大会は準優勝)が

期待される。

※令和5年度も受賞しており、2年
連続の受賞となる



グランドスラム・バクー2025 66kg級で優勝した武岡選手
左から2人目

②大学への協力、及び連携

次のとおり協力等を行った。

・神職養成講習会への協力

第151回(夏期)、第152回(春期)の受入れを行った。従前同様のサービスは提供できなかったが、概ね好評であった。(利用者アンケートによる)

・院友子弟等特別選考入学試験制度の広報(院友会報での広報)

・國學院カードに関する広報(院友会報での広報)

・國學院大學博物館に関する広報(院友会報での広報)

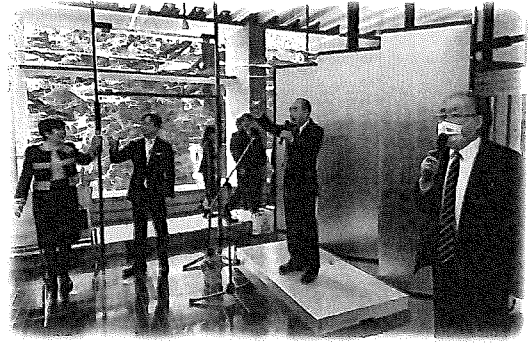
・エクステンションセンターの事業に関する広報(院友会報での広報)

・他

*第7回オール國學院親睦ソフトボール大会の開催の際、可能な職員の参加と日頃の運営へのお力添えに感謝の意を込めて、懇親会に協賛した。

*大学卒業式当日、卒業証書授与後に開催された全学部の卒業祝賀会に、業務執行理事・理事・職員が出席した。祝意を表すとともに、新院友となった卒業生に対し直接メッセージを贈ることができた貴重な場となった。

*学校法人國學院大學、及び学校法人國學院大學栃木学園が設置する学校や園に対しても、卒業式・卒園式の際に祝花を贈り祝意を表した。



卒業式当日の経済学部卒業祝賀会

③校友課との連携

「院友名簿メンテナンス」「ホームカミングデー」「院友会支部総会」を始めとした様々な業務や事業について協力連携した。

また、若木育成会の事業にも協力した。

- ・キャンパス見学会での「院友会全国支部物産展」の実施
- ・若木育成会主催の事業への協力や、若木育成会会員との交流（一部の支部）

④ホームページの活用

インターネットによる情報発信は必要不可欠であり、本会においても母校・学生・各支部や院友情報、及び会館のPR等の発信を行った。又、X（旧 Twitter）による情報発信も行った。

- ・ニュース 11 件 ※院友動向、寄贈図書、院友会合等が中心
- ・お知らせ 78 件 ※支部総会開催、行事告知等が中心
- ・X (旧 Twitter) 121 ポスト ※運動部結果速報、支部総会、大学の様子等が中心

⑤院友の図書受入れとその管理

院友の方等から、合計 30 冊の寄贈を受けた。これらは、ホームページで紹介させていただくとともに、一部は来館者にご覧いただけるよう館内に展示した。

⑥協力団体との連携

4 協力団体の内、院友経済会が積極的に行っている学生支援事業の情宣、院友学術振興会との連携による「公開講座 - 國學院の古典 - 」について取り組んだ。特に、令和 7 年 1 月に開催された「公開講座 - 國學院の古典 - 」は、これまでと同じく案内状の発送から受講申込み受付・当日の運営も主体的に携わった。

⑦会員へのサービス

次のとおりのサービスを行った。

- ・電報サービス（結婚・叙勲・褒章・受賞等・お悔やみ・等）を行った。
宮司就任 15 件／神職身分 9 件／神社祭礼 3 件／叙勲 9 件／結婚 2 件
お祝い・社長就任 4 件／当選等 5 件／弔電 11 件／お見舞い 1 件
- ・院友会報におけるプレゼント企画を行った。

387 号（残暑見舞号）

國學院大學名入り T シャツ・國學院大學和装うちわ

《応募 126 名 / 当選 10 名》

388 号（新年号）

國學院大學オリジナル第 101 回箱根駅伝出場記念カレンダー・秩父宮賜杯第 56 回全日本大学駅伝対校選手権大会マフラー
タオル セット

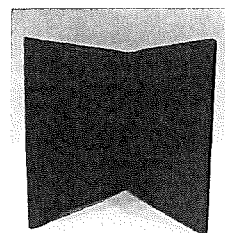
《応募 47 名 / 当選 5 名》

389 号（新院友歓迎号）

國學院大學オリジナルブックカバー

こくびょんアクリルキーホルダー セット

《応募 60 名 / 当選 10 名》



院友会報 389 号プレゼント企画の賞品

⑧会費・寄付金等の納入促進

院友会報発送に合わせて納入依頼を行った。会費・寄付金共に前年度同時期の決算額を上回る結果となった。これまで同様、支部や神社単位で納入の協力が得られたことは、特筆すべき事項である。

受取会費 56,813,000 円（前年度比 572,000 円増益／※一般会員からの納入が若干の増となった）

受取寄付金 3,733,680 円（前年度比 1,412,920 円増益）

入会金、及び十年会費の予納に関する周知に取り組んだ。

新入生に対して、オリエンテーション関係書類に入学の祝意とともに、この制度に関するお知らせ書類を同封して告知に努めた。

大学の入学案内や若木育成会のガイドブックにも、同様にこの制度に関するお知らせを掲載して告知に努めた。

➤ 継続検討事項

会費制度や会費納入の際の利便性等、将来を見据えた展開についての検討。

⑨研修等の実施

職員の、業務に必要な研修への参加を奨励した。

《参加セミナー・講習会》

「税務関係」「防火・防災関係」「社会保険関係」「改正公益法人制度関係」の7つのセミナー・講習会に参加した。

また、当初は職員の研修も実施予定であったが、これは事務局事情により実施が叶わなかった。

⑩その他

ご案内をいただいた神社の祭典等はできる限る参列した。参列が叶わなかった際には、電報等で祝意を表した。

【収益事業】

様々な要望に応えながら、各界の多くの皆さまに会館をご利用いただくことができた。しかし、一部の収益部門においてコロナ禍前の収益には至っていないものもあり、これは今後の課題となっている。又、事業計画には無い新たな修繕箇所も発生していることから、優先順位を付けて対処した。尚、施設設備修理等のための会館修繕積立金の一部取崩しは、今後の対応を見据えて取り止め、経常費での対応とした。更に新規積立も、当初予算よりも若干ではあるが上積みしての積立を実施した。

(1)増益に向けた取り組み

会館事業収益は、次のとおり増益となった。

収益合計 15,522,367 円／前年度比 2,142,684 円増(令和5年度決算額 13,379,683 円)

※参考：令和元年度 会館事業収益 31,332,008 円

(2)院友会館の設備等の修繕

次のとおりの修繕を実施した。

- ①館内非常灯不良個所の対応
- ②高圧交流負荷開閉器の更新
- ③受水槽給水配管工事
- ④事務室空調機の修理
- ⑤2階ロビー空調機の修理
- ⑥会館正面床タイルの修理

(3)会館修繕積立金の対応

昨今、予想外の新たな修繕対応箇所が発生していることから、今後の積立金の必要性を見据え、当該年度での一部取崩しは見送り経常費での対応とした。又、少しでも多くの自己資金を有することを目的として、当初予算を増額して1,500,000 円強の積立を実施した。

(4)その他

- ①学生の利用に際して、令和5年度同様積極的なアドバイスをを行いながら対応してきた。

- ②宿直アルバイトの勤務態勢については、現状の会館事業収益を踏まえ前年度同様、調整しながらの勤務とし、人件費の抑制に努めた。
- ③会館の保全を目的として、遠隔機械警備を導入した。
- ④ケータリング業者に関して、これまでは選択肢が限られた状況であったが、早目の対応により新たな業者への依頼も可能となり、若干ではあるが改善することができた。

■実施できなかった事業

- ①インターネットを活用した院友会館使用例の発信（ただし、若干の発信はあり）
- ②利用者の利便性向上のため、インターネット環境のより良い提供の検討
- ③神職養成講習会に関して、でき得るサービスの検討と共に受入れ拡大についての検討
⇒ それぞれ、人員不足のため日常業務の処理が精一杯であったため。
③の受入れ拡大については、令和6年度は利用者の声を反映させて対応した。
しかし、拡大容認の声もあることから、それに向けて検討することとしている。
- ④会館外壁打診調査

【法人事業】

本法人の更なる健全運営のため、法人法及び定款に基づき確実な手続きを行った。令和6年度は、評議員・理事・監事何れも6月の定時評議員会の終結を以って任期満了を迎えた。新体制へ移行手続きも堅実にいった。

(1)定期提出書類

令和5年度「公益目的支出計画実施報告書」を6月28日(金)に電子申請で提出。7月11日(木)に手続きが完了した。※修正依頼等は無かった。

(2)業務執行理事連絡会議

理事会・評議員会の開催、及び業務の執行のため次のとおり開催した。

①4月24日(水) 國學院大學院友会館 4階 研修室

〈協議事項〉

- 1. 中里陽一総務部長からの退職願に関する件
- 2. 専任職員就業規則、及び専任職員退職金規程一部改正に関する件
- 3. 評議員、理事、監事の任期満了に関する件

他 報告事項

②5月10日(金) 國學院大學院友会館 2階 小会議室

〈協議事項〉

- 1. 第44回理事会に関する件
- 2. 第45回理事会に関する件
- 3. 第13回定時評議員会に関する件

他 報告事項

③6月13日(木) 國學院大學院友会館 2階 小会議室

〈協議事項〉

- 1. 第13回定時評議員会に関する件
- 2. 第45回理事会に関する件
- 3. 評議員・理事・監事 合同懇親会に関する件
- 4. 令和7年度 支部長会議・一般公開講演会・院友大会に関する件

他 報告事項

④12月3日(火) 國學院大學院友会館 2階 役員室

〈協議事項〉

- 1. 第46回理事会に関する件

他 報告事項

⑤令和7年3月17日(月) 國學院大學院友会館 2階 役員室

〈協議事項〉

- 1. 「旅費規程」及び「旅費規程内規」一部改正の件

2. 第 47 回理事会に関する件

他 報告事項

(3)監査について

法人法、及び定款に基づき次のとおり行われた。

①4月24日（水） 令和5年度下半期分事業等 國學院大學院友会館 2階小会議室

②11月29日（金） 令和6年度上半期分事業等 國學院大學院友会館 2階小会議室

(4)評議員会

法人法、及び定款に基づき次のとおり定時評議員会を開催した。又、令和6年度の定時評議員会の終結をもって前評議員・前理事・前監事の任期が満了となったことから、この改選手続きも行われた。

・第13回定時評議員会

6月21日（金） 國學院大學院友会館 B1階 大ホール

出席状況等：出席評議員 16名（評議員総数 28名／定足数 15名）

出席理事 15名 / 出席監事 3名

〈評議員会の決議の目的である事項 / ※承認〉

*令和5年度決算の件《貸借対照表・損益計算書(正味財産増減計算書)の承認》

*評議員・理事・監事選任の件 *常勤理事役員報酬の件

〈報告事項 / ※すべて了承〉

*支部長交代について 他 17件

(5)理事会

法人法、及び定款に基づき理事会を開催した。第13回定時評議員の終結をもって理事・監事の改選が行われたことに伴い、代表理事・業務執行理事等の選任も行った。

①第44回 5月20日（月） 國學院大學院友会館 3階 大会議室

出席状況等：理事総数 25名（定足数 13名） / 出席理事 17名 / 出席監事 3名

〈決議事項 / ※すべて承認〉

*令和5年度事業報告の件 *令和5年度決算の件

*令和5年度公益目的支出計画実施報告書の件 他 6件

〈報告事項 / ※すべて了承〉

*代表理事・業務執行理事の職務の執行状況報告、他 4件

②第45回 6月21日（金） 國學院大學院友会館 2階 小会議室

出席状況等：理事総数 25名（定足数 13名） / 出席理事 20名 / 出席監事 3名

〈決議事項 / ※すべて承認〉

*会長・副会長・常務理事の選定の件 *顧問・参与の選任の件

*個人情報の取扱いに関する委員の件 *支部長承認の件

〈報告事項 / ※了承〉

*顧問の退任の件

③第46回 12月17日（火） 國學院大學院友会館 3階 大会議室

出席状況等：理事総数 25名（定足数 13名） / 出席理事 22名 / 出席監事 3名

〈決議事項 / ※すべて承認〉

*支部長承認の件 *令和7年度 支部長会議開催の件

*令和7年度 一般公開講演会開催の件 *令和7年度 院友大会開催の件

*令和7年度 学術・スポーツ振興資金 助成額の件

〈報告事項 / ※すべて了承〉

*令和5年度 公益目的支出計画実施報告書について、他 7件

④第47回 令和7年3月25日（火） 國學院大學院友会館 3階 大会議室

出席状況等：理事総数 25名（定足数 13名） / 出席理事 17名 / 出席監事 3名

〈決議事項 / ※すべて承認〉

*令和6年度補正予算の件 *令和6年度院友会長賞の件

*令和7年度事業計画の件 *令和7年度予算の件 *令和6年度表彰者の件

*第14回評議員会（定時）招集に関する件

〈報告事項 / ※すべて了承〉

※代表理事・業務執行理事の職務の執行状況報告、他 7 件

(6)個人情報保護委員会について

法律、本会規程等に基づき次のとおり開催した。

令和 7 年 3 月 25 日（火） 國學院大學院友会館 2 階 小会議室

出席状況等：個人情報保護委員総数 4 名 / 出席委員 2 名 / 出席事務局担当者 2 名

〈報告事項 / ※すべて了承〉

※令和 6 年度個人情報の収集、及び共同利用者への情報提供について

※個人情報の共同利用者、第三者への提供（収受）について

(7)基金への対応

新たに 500,000 円の積立を実施した。令和 7 年 3 月 31 日現在、111,628,884 円となっている。

(8)その他

次のとおりの規程・規則等の一部改正を行った。

- ①専任職員就業規則（早期退職制度導入）
- ②専任職員退職金規程（早期退職制度対応）
- ③専任職員給与規程
- ④「旅費規程」及び「旅費規程内規」

【その他 共通事項】

備考で示したとおり、事務局の厳しい体制が続いており、新たな取組みに着手できていない状況である。解決に向けて、継続して取り組んでいる。

危機管理部門では、前任者の退職に伴い防火管理者の変更手続きを行った。

■実施できなかった事業

- ①非常時の訓練
- ②事務局における業務の効率化
- ③令和 8 年（2026 年）に迎える、本会発足 140 年・院友会館開館 40 周年に向けた必要な事業の検討
- ④新たな中期計画の検討

■備考

職員 1 名減の状況が続いており、現職員に相当の負荷が掛かっている。多方面に協力を依頼をしてはいるが、現状では適任者が出てきていない状況である。

大学の職員の方々を中心にお力添えをいただきながら、早急に対処できるように引き続き務めていく。

【附属明細書】

令和 6 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する事業報告の附属明細書として記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が無いため、附属明細書は作成いたしません。

以 上